

⑤ 地域の絆・連携を大切に!! — 区の行事とあわせて活動 —

第14区自主防災会（榛東村）

団体概要

設立年度：平成21年度
人口：804人
世帯数：245世帯
（ともに平成23年4月1日現在）



▲ 内海会長と第14区自主防災会の備蓄倉庫

地域の状況

地理的状況：中山間部

地域の概況：榛名山の東麓に広がる豊かな自然に恵まれた榛東村の南部に位置し、古くからの住民と新興住民とが共存するのどかな地域。近くに陸上自衛隊の駐屯地がある。

過去の災害：大きな災害は特になし

○組織結成の経緯

（結成までの経緯）

●当地区は昔から災害が少ないため、防災意識をあまり持たない住民が比較的多かったが、村からの要請を受けて、平成22年1月に新たに結成した。

（結成の際に苦労、工夫したこと）

●多くの住民が参加できるように、また負担を少なくするため、様々な自主防災活動を区の行事に組み合わせて実施することとしている。

また、消火部や救出・救護部等の5つの部長には、それぞれ区の役員が自動的に就任するような体制をとっている。

（行政の関わりなど）

●設立に当たっては、防災資機材について村が整備してくれた。

○特徴的な取り組み内容

（自主防災組織活動の詳細な内容）

●区の行事と組み合わせ各種取り組みを実施している。

（区の夏祭り時に発電機を使用、道路愛護活動時に防災倉庫の中身確認、道祖神祭の際に炊き出し釜を使って豚汁づくり、区のソフトボール大会時に炊き出し訓練、老人会活動に消火訓練やAED研修、班長引継時に防災ビデオによる勉強会、1月の初会で自主防災の活動実績報告等）

（避難計画）

●特に、災害時要援護者の避難誘導計画の作成が今後の検討課題である。

（行政の関わりなど）

●研修会や勉強会の際には防災ビデオの貸し出しをお願いしている。



▲ 初期消火訓練の様子



▲ 老人会におけるAED研修の様子

○組織の形態

会長 - 副会長 - 部長（5名／消火部、救出・救護部、情報部、避難誘導部、給食・給水部） - 班長（16人）、民生児童委員

○活動の成果や問題点など

【よかった点など】

●区の行事とあわせて各種活動を行っているため、住民にも抵抗なく受け入れられている。また、班長引継時の研修を通じて、次のリーダーの育成も図られている。子どもやお年寄りも含め、人が集まる時に活動すれば自然に防災意識も広まっていく。

なお、一昨年区内で火災が発生した際に、かけつけた住民が消火栓を使って消し止めたケースがあり日ごろの防災活動の重要性を感じた。

【苦労した点など】

●いかに多くの住民に参加してもらうかを常に意識している。

（行政の関わりなど）

●資機材の整備や防災ビデオの貸し出し等、日頃から連携を図っている。

○活動の課題や今後の取り組みの予定

【課題となっていること】

●まだ結成してから2年目なので現在の活動内容についてはうまくいっていると思う。ただ、今後の活動の発展・進展をどう図っていくかが課題であり、住民の意見を取り入れて検討していきたい。

特に、災害時要援護者を中心とした住民の避難誘導計画について、これから整備していく必要を感じている。

【課題解決のための取り組み計画】

●村の社会福祉協議会では、災害時要援護者の安否確認についてそれぞれ担当者が決まっているので、連携しながら避難誘導計画を作成していきたい。

（行政の関わりなど）

●引き続き、日頃から連携を図っていきたい。